



大綱株式会社
DAIKO CORPORATION

環境経営レポート

対象期間 2023年3月21日～2024年3月20日



潮風橋（東京都足立区）
Jakob® Webnet



環境経営方針	3
会社概要	4
環境経営組織及び役割・責任・権限	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標およびその実績	6
環境経営計画の取組結果と評価、次年度の計画	
電力・LPガスによる二酸化炭素削減	7
自動車による二酸化炭素の削減	8
一般廃棄物の削減	8
産業廃棄物の削減	9
水道水の削減	9
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果ならびに	10
違反, 訴訟の有無	
緊急事態対応の試行・訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11





環境経営理念

大綱株式会社は、環境問題が重要かつ長期的な課題と認識し、全員参加で環境に配慮した事業活動に取り組み、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

環境保全への行動指針

1. 全員参加型の環境経営システムを構築・運用し、継続的改善に努めます。
2. 環境関連法規等を遵守します。
3. 事業活動における資源・エネルギー（電力・ガス・ガソリン等）の削減に努めます。
4. 事業活動における水の削減に努めます。
5. 廃棄物の排出抑制に努めます。
6. 溶剤など適正管理に努めます。
7. お客様のSDGsに関わる目標達成に貢献する製品・サービスを提供します。
8. 働きやすい環境を整備・実現します。
9. 環境情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを図ります。

制定日：2022年7月21日

代表取締役社長 馬場哲人



会社概要

事業所名	大綱株式会社
代表者名	代表取締役社長 馬場哲人
資本金	8000万円
創業	1960年(昭和35)3月

所在地 (認証・登録対象組織)	本社	大阪市港区弁天6-1-5
	東京営業所	東京都中央区日本橋箱崎町5-1-1
	名古屋営業所	名古屋市中川区高畑2-2
	大阪営業所	大阪市港区弁天6-1-5
	加古川営業所	加古川市野口町水足105-10
	広島営業所	広島市東区光町2-12-10
	九州営業所	北九州市小倉北区赤坂5-393-3

環境管理責任者	総務部長 石川裕	06-6574-2127
環境管理担当者	企画課 松井崇典	06-6574-2122

事業活動 (認証・登録対象活動)	ワイヤロープ、繊維ロープ、その他吊り具及び関連製品の加工・販売 建設業
許認可	大阪府知事(般-1)第152416号 ●とび・土工事業 ●機械器具設置工事業

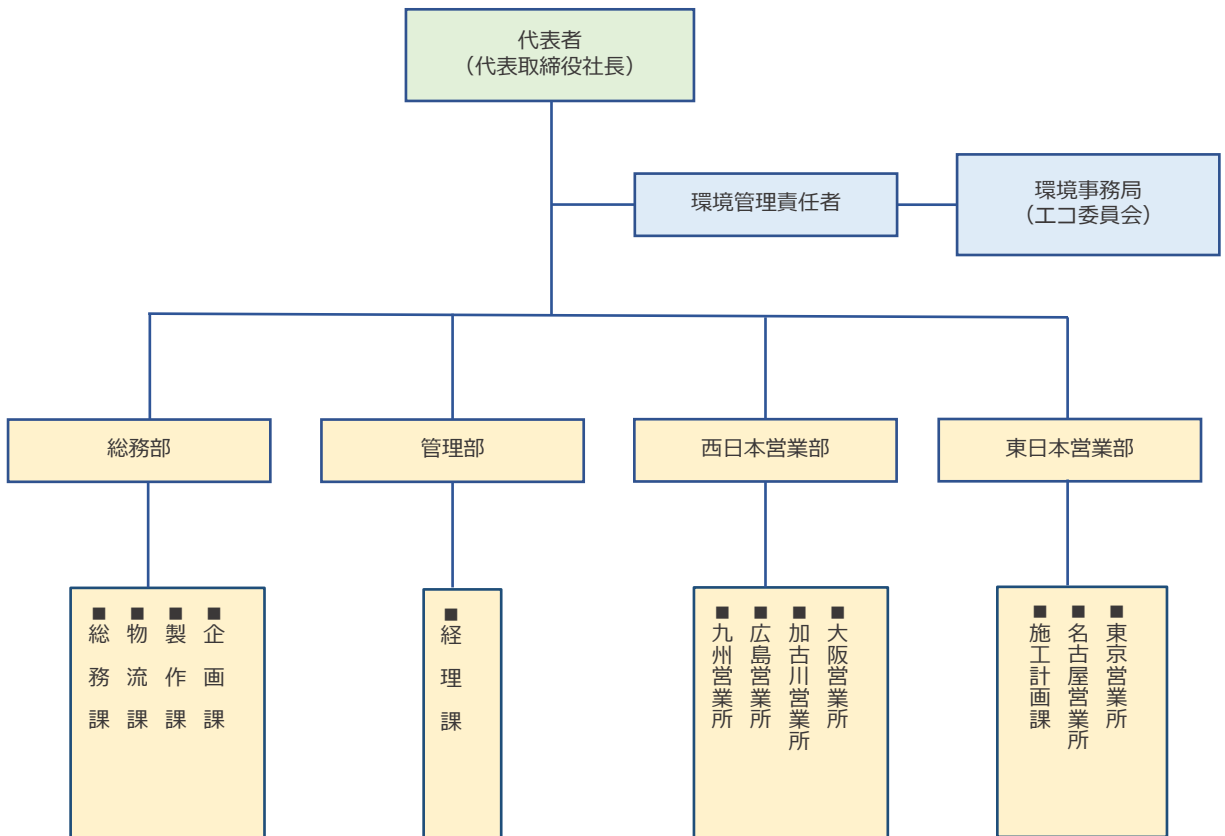
事業規模	単位	2022年	2023年
売上高	千円	4,629,233	5,291,125
従業員数	名	67	67
延床面積	平米	4,545	4,545

事業年度	2023年3月21日 ~ 2024年3月20日
レポートの対象期間	2023年3月21日 ~ 2024年3月20日



環境経営組織及び役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表者	統括責任、経営資源の準備、環境経営方針の策定・見直し 全体の評価と見直し・指示
部門責任者	環境経営方針の周知・教育・訓練の実施、環境経営目標達成に向けた取り組みの実施、 環境関連法規等遵守の取り組み、問題点の是正と予防
環境管理責任者	環境経営に関する実行責任
環境事務局 (工コ委員会)	環境管理責任者の補佐 各種帳票の作成・データの取りまとめ 環境経営目標の作成 環境関連法規等取りまとめ表の作成と最新版の管理 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境経営レポートの作成・公開 環境経営計画の審議、環境活動実績の確認・評価、緊急事態対応訓練の実施・記録
部門責任者	環境経営方針の周知、社員に対する教育訓練の実施 環境経営目標達成に向けた取り組み実施、環境関連法規等遵守の取り組み 問題点の是正・予防
社員	環境経営方針の理解、環境への取り組みの重要性の自覚 自主的・積極的な環境活動への参加






主な環境負荷の実績

	単位	2021年(基準年)	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	202,712	186,985
一般廃棄物排出量	kg	20,665	10,762
産業廃棄物排出量	kg	139,794	81,410
水道水使用量	m ³	1,299	1,354



環境経営目標及びその実績

二酸化炭素の削減	単位	2021年(基準年)	2023年(目標)	2023年(実績)
電力 	kg-CO2	104,102	99,938	91,522
	基準年比	—	96%	88%
LPガス 	kg-CO2	4,104	3,940	2,880
	基準年比	—	96%	70%
自動車燃料 	kg-CO2	94,360	90,586	86,660
	基準年比	—	96%	92%
合計	kg-CO2	202,566	194,463	181,062

廃棄物・水道水の削減	単位	2021年(基準年)	2023年(目標)	2023年(実績)
一般廃棄物 	kg	20,665	19,839	10,762
	基準年比	—	96%	52%
産業廃棄物 	kg	29,900	28,704	6,443
	基準年比	—	96%	22%
水道水 	m ³	1,299	1,286	1,354
	基準年比	—	99%	104%

基準年(2021年) 二酸化炭素排出係数: 0.343kg-CO2/kWh

事業所	電力会社	2023年調整後排出係数	事業所	電力会社	2023年調整後排出係数
大阪本社	関西電力	0.318	加古川営業所	関西電力	0.318
東京営業所	IBVコミュニケーションズ	0.468	広島営業所	中国電力	0.585
名古屋営業所	中部電力	0.426	九州営業所	九州電力	0.371

※調整後排出係数: kg-CO2/kWh(全社)=kg-CO2(全社)/kWh(全社)として計算しています。



環境経営計画の取組結果と評価、次年度の計画



電力による二酸化炭素削減

数値目標と実績 (kg-CO2)		
数値目標	実績	
99,938	91,522	○

取 り 組 み 内 容		
空調温度の管理 (冷房28℃ 暖房20℃)		△
空調機フィルター・室外機の点検清掃		○
不必要な照明の消灯 (昼休み・休憩時・離席時等)		○
外出時のパソコン電源OFF		△
働き方改革による勤務時間の削減		△

■ 取り組みの評価

9月から自社サーバーをクラウド化。全社的に節電意識は浸透しているが、取り組み内容によっては改善の余地がありますので、継続して進めていきます。

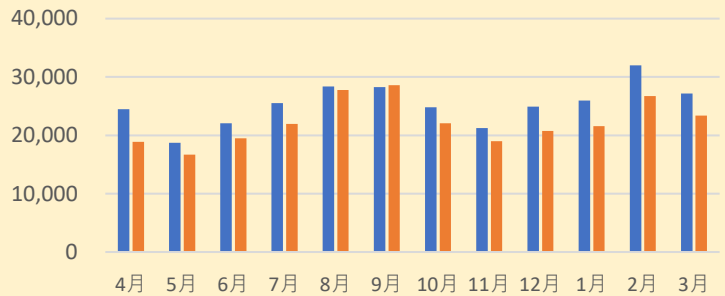
■ 次年度の計画

猛暑、熱中症対策として、現業職の空調服着用義務付けを検討しています。中長期計画として、太陽光パネル、蓄電池設備の導入が課題である。



全ての操作パネルにラベルを貼って管理しています。

電力使用量 (kWh) ■ 2021年 ■ 2023年



LPガスによる二酸化炭素削減

数値目標と実績 (kg-CO2)		
数値目標	実績	
4,104	2,880	○

取 り 組 み 内 容		
LPガスを使用しない生産技術への移行		○
機器の定期的なメンテナンス		○

■ 取り組みの評価

数値目標を大きく下回り、LPガスを使用しない生産技術の確立が大きく寄りました。環境に配慮した製品の提供が、お客様より高い評価を頂いております。

■ 次年度の計画

引き続き、環境に配慮した製品をお客様にPRし、更なる削減に取り組んでいきます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月次評価	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	○
累計評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



環境経営計画の取組結果と評価、次年度の計画



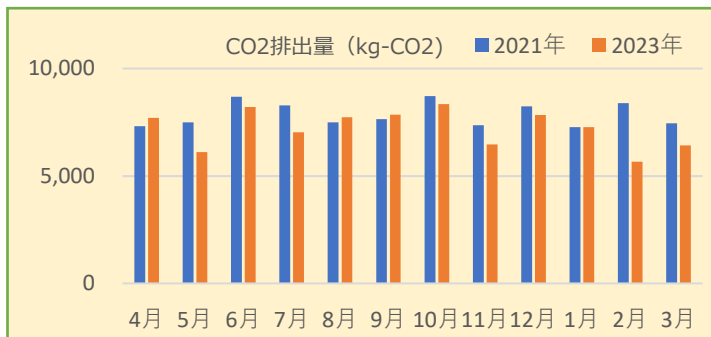
自動車燃料による二酸化炭素削減

数値目標と実績 (kg-CO2)

数値目標	実績	
90,586	86,660	○

取 り 組 み 内 容

エコドライブの徹底(自動車、トラック、フォークリフト)	○
エリア別営業の見直し	△
適正な車両整備 (タイヤの空気圧等)	○



■ 取り組みの評価

営業活動が本格的に再開されましたが、エコドライブの推進、カーシェアリングの活用、公共交通機関を積極的に利用しました。CO2削減の意識は着実に浸透してきています。

● ガソリン使用量

2021年(基準年度) 19,844L
2023年 18,188L

● 軽油使用量

2021年(基準年度) 18,729L
2023年 17,234L

■ 次年度の計画

営業車両を低燃費自動車へ随時入れ替えています。定期的な車両メンテナンス、エコドライブを実施し、燃費の向上を目指します。



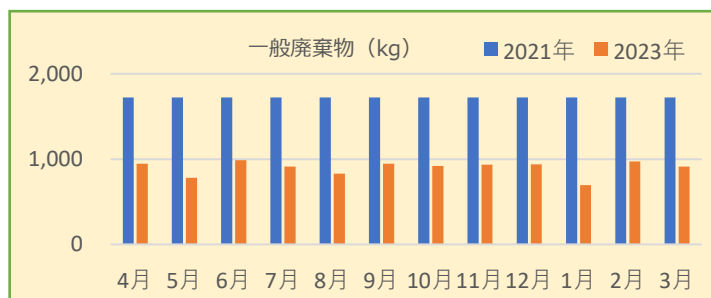
一般廃棄物の削減

数値目標と実績 (kg)

数値目標	実績	
19,839	10,762	○

取 り 組 み 内 容

分別の徹底	○
両面印刷、集約印刷の徹底	△
資料、帳票類の印刷削減	△
使い捨て製品の使用、購入の抑制	○
3S (整理・整頓・掃除) 活動の実施	○



■ 取り組みの評価

旅費交通費の精算電子化、不必要な印刷物の削減、両面印刷等、ペーパーレス化が浸透してきています。

● 一般廃棄物の廃棄量

2021年(基準年度) 20,665kg
2023年 10,762kg

■ 次年度の計画

引き続き分別の徹底と印刷物の削減に取り組むとともに、帳票類のペーパーレス化を推進していきます。



環境経営計画の取組結果と評価、次年度の計画



産業廃棄物（混合廃棄物）の削減

数値目標と実績 (kg-CO2)		
数値目標	実績	○
28,704	6,443	

取 り 組 み 内 容	
分別の徹底	○
サプライヤーへの簡易梱包の依頼	△

■ 取り組みの評価

再利用不可の木製ドラム返却、不要木材を銭湯へ持ち込み、熱源として再利用を継続して実施しました。

■ 次年度の計画

今年度の取り組みを続けるとともに、仕入れ業者様に簡易梱包のご協力をとりつけ、さらに廃棄量の削減を目指します。



■ 再利用不可の木製ドラムを定期的に購入メーカーへ返却



水道水の削減

数値目標と実績 (kg)		
数値目標	実績	×
1,286	1,354	

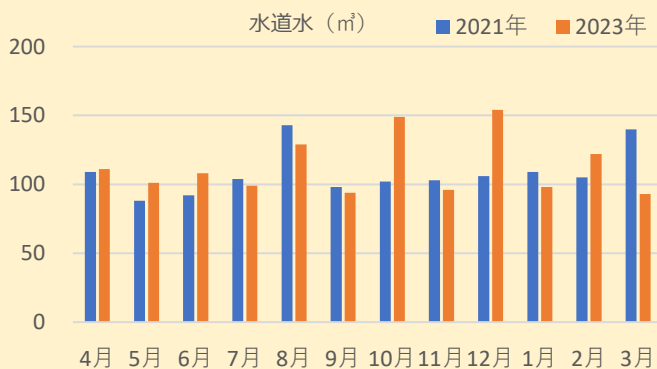
取 り 組 み 内 容	
節水の呼びかけ表示	○

■ 取り組みの評価

設備のメンテナンス不足により、漏水が原因で数値目標を上回ってしまうが、節水意識は浸透してきています。

■ 次年度の計画

定期的、計画的に設備メンテナンスを行い、継続して節水遵守を実行していきます。



節水の呼びかけ表示



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 ならびに違反、訴訟の有無

	摘要される事項（施設・物質・事業活動）	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出	遵守
騒音規制法	液圧プレス	遵守
振動規制法	液圧プレス	遵守
フロン排出抑制法	業務用空調機の設置	遵守
自動車NOx・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用	遵守

当社に関する上記の環境関連法規制等の遵守状況を評価した結果、すべて遵守されていました。
なお、関連機関からの違反等の指摘、環境関連の訴訟は過去3年間ありません。



緊急事態対応の試行・訓練



普通救命講習の受講

部署	受講月	人数
東京営業所	2024年1月	2名
施工計画課	2024年1月	1名
名古屋営業所	2024年2月	2名
大阪営業所	2023年12月	2名
加古川営業所	2023年12月	4名
広島営業所	2024年3月	2名
九州営業所	2023年11月	4名
総務部	2023年12月	4名



代表者による全体の評価と見直し・指示

評価の対象期間	2023年3月21日～2024年3月20日
評価実施日	2024年4月22日
全体の評価	2023年度の運用期間（2023年3月21日～2024年3月20日）1年間の評価としては、目標値に対して改善が見られた項目がある一方で、「水道水削減」は目標値を上回ることになる。しかし、継続して環境改善を推進することの必要性、環境に優しい操業を行うというマインド設定の良い動機となっている点では、十分な成果を得ることができた。
見直し・指示	<ul style="list-style-type: none">■ 定期的な設備のメンテナンス、省エネルギー型設備導入の検討■ 環境負荷を軽減できる製品の開発（高強度化・軽量化・長寿命化の達成）■ 全項目の定量目標達成に向けて、継続的な改善を行うこと■ 環境に配慮した工事、建設副産物のリサイクル率の向上
環境経営方針 環境経営目標・計画 実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更有 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更有 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 変更有

発行日：2024年7月22日